

「第九の地」せんべいでPR

アジア初演 徳島・鳴門西LC発売



鳴門西ライオンズクラブが
発売した「第九せんべい」

ベートーベンの交響曲第
9番（第九）アジア初演の
地とされる徳島県鳴門市板
東地区をPRしようと、鳴
門西ライオンズクラブ（木
村正美会長）は「第九せん
べい」を発売した。

第九は第1次世界大戦

中、同地区にあった板東俘
虜収容所でドイツ兵捕虜が
演奏したのが初演とされ、

2018年に100周年を

迎える。関連行事などで国

内外から訪れる人らにお土

産にしてもらおうと、商品

化した。

せんべいは9枚入りで、

うち3枚には食べられるイ

ンクで「第九」の文字、収

容所や捕虜の写真などをプ

リントした。箱には、ドイ

ツ兵と地域住民の交流の歴



読売新聞 平成29年11月7日(火)掲載

徳島商工会議所

「新商品・新サービス合同プレス発表会」

平成29年10月25日(水)参加

史を伝える鳴門市ドイツ館
とベートーベンがデザイン
され、裏面に切手を貼れば
箱ごと郵送できる。
1箱540円(税込み)。
同館と地元の道の駅で販
売。1箱あたり100円は、
第九にちなんだ地域振興に
取り組む団体などに寄付す
る。問い合わせは同クラブ
(0888・6833・597
7)。